

PHP新書「地震予報」読者の皆様へ
No.1778 長期継続特殊前兆

続報 No.200

2017.03/12 (日) 16:00 JST

原稿校了後の前兆変化について

八ヶ岳南麓天文台 Yatsugatake South Base Observatory 山梨県北杜市大泉町谷戸8697-1 研究室 FAX 0551-38-4254
Astronomical Observatory: SINCE 1985 Earthquake Forecast Observation & Research: SINCE 1995

No.1778 長期継続前兆 本日現在 CH17 20 26 特異前兆のみ継続
3/14未明迄に終息の場合=3/15± 3/15段階で継続の場合=4 or 5月

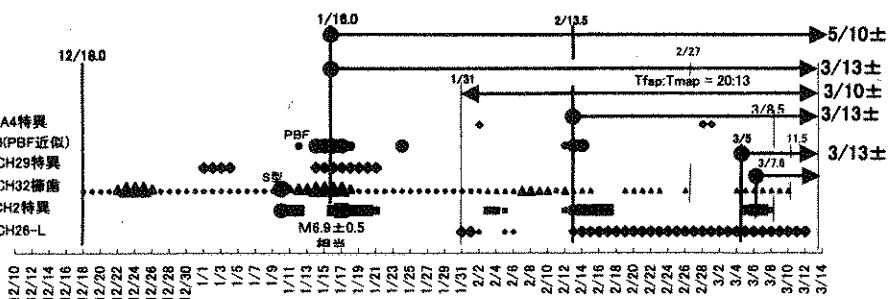
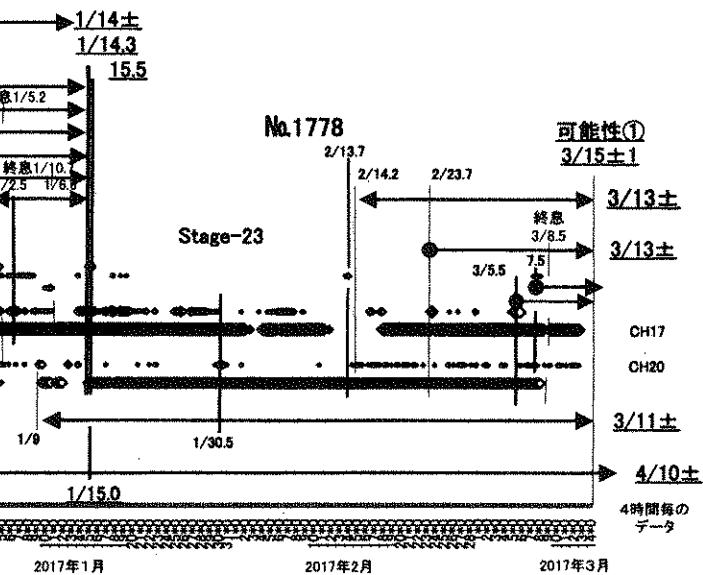
長期に継続出現したK10等前兆は完全終息し、A1BTやK6-PBFを始め他の前兆は全て静穏。

しかし、一度静穩化したCH17と断続的なCH20及び火山帯近傍関連前兆認識のCH26特異が静穩化せず、本日午後時点で継続中。

3/7に高知観測点K1に特異が出現しました。3/7にピークの可能性有。本認識が正しい場合、本日午後時点で前兆継続事実は3/13発生の可能性を否定します。

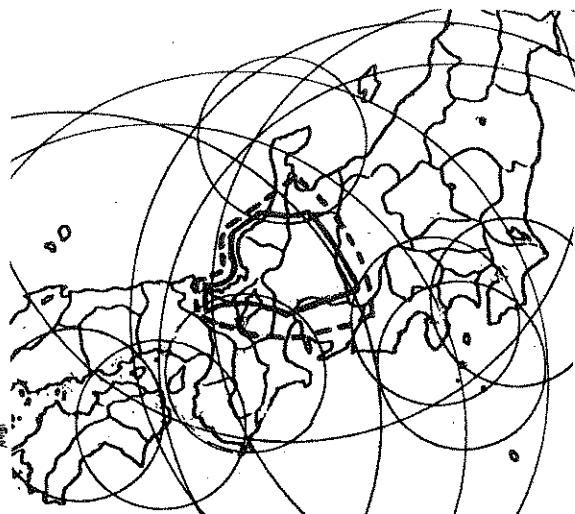
しかし、上図に記した様な前兆関係認識が仮に正しい場合、3/13±を示す関係が複数認められます。このため、±3日の誤差を考慮しても3/16迄は可能性を否定できません。仮に3/16発生の場合には3/14未明に前兆終息の可能性が計算できます。15日段階で前兆継続の場合は、3/15±1 時期の可能性は否定されることになります。

No.1778地震前兆図のCH17系状特異の継続出現開始2016.11/30初現～2017.1/15 極大の関係で計算しますと、4/10±が示唆さ



れ、また、K6-PBF前兆群では1/16主極大、2/13.5副極大認識としますと、5/10±も計算できます。3/13~16を示す認識が正しくても、この時期に極大が出現するのか、又は認識が誤りで、4/10±or5/10±となるのか、今後の前兆を観測して再考予定。

No.1778前兆 ◆推定領域: 右図 点線領域内=大枠推定域
太線領域内=可能性考え易い推定域
(活動度に関係なく、ある程度火山に近い領域の可能性有)



◆推定規模: M7.8±0.5
(前兆評価誤認の場合でも最低M6.9±0.5)

◆推定時期: CH17, 20, 26等が3/14±終息の場合=3月15日±1
CH17, 20, 26等が3/15段階で継続の場合=
4/10± 5/10± 等も可能性が示唆されるが、
今後の前兆終息変化等を鑑みて推定予定

◆推定地震種: 震源が浅い(30km以内) 日本列島の陸域地殻地震
◆推定発生時刻: 午前09時±1(又は午後06時±3)